

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1115	(H.24)No.	1115
-----------	------	-----------	------

事務事業名	観光振興対策費		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	観光交流室	永岡 良仁	

会計区分	事業コード	363501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 商工費	観光振興対策費	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	観光振興対策費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	2	集客交流機能の向上
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
観光資源活性化と観光産業振興のため、効率的な各種事業の実施、名張市の知名度向上や入込客数増大を目指す。情報発信を積極的に行い、語り部等観光を支える人づくりを進め、集客交流機能を向上させる。また、観光拠点整備とともに、各種団体との連携・交流を深め、魅力ある観光地づくりを目指す。
事業内容
観光振興のため、観光資源の活用と観光施設の整備を図る。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレット・マップ印刷(各17,000部) 名張市観光協会への委託(観光案内スタッフ配置2名、観光キャンペーン年間40回、地域イベント年間5回、メディア関係者への広域連携観光情報発信年間3回、豊島区への物産展出展1回ほか) 名張川納涼花火大会警備業務委託 青蓮寺川香落溪観光客誘致促進事業委託 観光関係団体負担金等 	<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレット(15,000部)・マップ(13,000部)印刷 名張市観光協会への委託(観光案内スタッフ配置2名、観光キャンペーン年間40回、地域イベント年間4回、メディア関係者への広域連携観光情報発信年間1回、名張駅前公衆便所管理ほか) 名張川納涼花火大会警備業務委託 青蓮寺川香落溪観光客誘致促進事業委託 観光関係団体負担金等

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレット・マップ印刷 観光振興対策事業関係委託(観光協会、花火大会警備等) 観光関係団体負担金等 	<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレット・マップ印刷 観光振興対策事業関係委託(観光協会、花火大会警備等) 観光関係団体負担金等 	<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレット・マップ印刷 観光振興対策事業関係委託(観光協会、花火大会警備等) 観光関係団体負担金等

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	12,136千円	8,660千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 12,136	8,660	10,000	10,000	10,000
人工数					
職員	0.50人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 3,850千円	3,465千円	3,465千円	3,465千円	3,465千円
+ 総事業費	(0千円) 15,986千円	12,125千円	13,465千円	13,465千円	13,465千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
名張市観光協会を始め、各種団体と連携を深め、情報発信の強化・ホスピタリティの向上に努めた結果、市の知名度向上と集客の促進に一定の効果を得た。予算の縮減もあり、情報発信等の量的充実が難しいため、質を充実させていく必要がある。	委託内容の精査、効率化を進める。観光客誘客に効果の高い情報発信に努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	観光協会の観光案内機能・情報発信機能を充実させるとともに、ガイドボランティアの育成に努め、利便性を高めた。観光協会ホームページのアクセス数に改善が見られ、目標数値の達成に貢献した。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	観光部門の事業者との連携は比較的取れているが、地域づくり組織との連携については今後の課題である。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	
委託内容の精査・効率化を進め、観光客誘客に効果の高い情報発信に努める。	

6. 事務事業の取組に関係する主な市の計画

名張市産業振興ビジョン
